


令和5年度 課題探究GS 最終発表会 発表概要 (能勢分校4期生)

発表順	コース	発表タイトル	概要	関連するSDGs
1	探究	RIDE ON	能勢分校に通う中でバスの減便や災害時など交通に大きな課題を感じ、「どうすれば能勢分校生の登下校を便利にできるか」について探究を始めました。初期の案として地域の方々に協力してもらって送迎サービスを考えましたが、安全性や利益などの観点から棄却しました。そこで学校にあるE-bikeを活用することで、自分達の力で交通課題を解決することができる。という結論に至り、能勢分校の生徒にE-bikeのモニターとして協力してもらい交通が便利になるのかを検証しました。	  
2		NosECO project	能勢町は様々な課題を抱えています。中でも特に、環境破壊、ゴミ問題に着目しました。私たちの探究活動はゴミ問題改善のために、修学旅行で訪れたオガワエコノスさんや、現在能勢町のゴミを処理している国崎クリーンセンターさんを参考に、コンポストを使ったゴミの減量を検証しました。また、最終目標を能勢町が認定されているゼロカーボンシティの普及におき、能勢ささゆり学園でポスター掲示等を行いました。	  
3	食農流通	地域の産業廃棄物を有効活用 ～もったいない+ニワトリの工サ代削減へ～	動物管理の授業でニワトリを管理している際、餌代の高騰の問題を技師さんと話す機会がありました。それを聞いて、能勢にあるものでどうにかできないかと私達は思いました。餌の代替え品について調べてみると近隣県にバームクーヘン豚なるものもあり、似たような材料は無いかと検索すると、能勢の焼菓子工場が見つかりました。掛け合ってみると本来産業廃棄物になってしまう残渣を20キロほど提供していただきました。これを今までの餌に混ぜて食べさせてみることにしました。餌代は安くなったのか!? 焼菓子を食べたニワトリたちは一体どうなってしまうのか!? 是非、研究結果を聞きに来てください。	  
4		ドローンを活用した地域農業への貢献	マルチスペクトルカメラを搭載したドローンを使い、農場の水田やクリ園、地域の方や酒造会社の水田を撮影してきました。田植え前から収穫後までの期間中に、撮影画像を度々提供することで栽培管理や収穫期の判定に有効な役立つデータになればと考えています。生産者の方に撮影画像を提供する際には、撮影画像からわかることや、今後のドローンの活用方法などについても話し合いましたので、ぜひ見てください。	
5	地域活性	能勢日帰り旅行	能勢町は都会からのアクセスも良く、近くには日本一の里山「妙見の森」があります。また、能勢町は2016年に生物多様性に優れた自治体ランキングの生態系の豊かさと便益を評価する指標群で全国一位になりました。私たちはE-bikeを使いこの能勢の魅力あるスポットを巡りました。観光だけではなくスポットの歴史も紹介します。新しい冒険への欲望が湧き起こり、未知の場所への旅への興奮を感じることでしょう。	
6		能勢温泉を改善し広め、能勢町に人を呼び込もう ～温泉を観光資源に～	大阪能勢町天然温泉旅館能勢温泉の協力から能勢町を活性化するために活動してきました。温泉を観光資源に、15ほどの案を提案しました。家族をターゲットにした案やサービスの改善など盛り込みましたが、様々な問題から実現することが難しいようでした。そこで、この提案の中から一つでも実現するために多方面からアンケートを実施し、意見をもらい分析しました。一つでも実現し、次の世代に繋げることが...	
7		学校の土地を再利用	私たちの活動は、能勢町にある誰も住んでいない建物や古い建物を無くせないかということから始まった。古い建物があると景観が悪くなったり、建物に侵入したりする人たちが出てきて治安が悪くなる事も考えられる。そこで、建物を解体することを考えた。ところが費用が思ったより高かったため、逆に利用してみんなが安心できる状況をつくろうと考えた。これから4つの案を発表するので、いい案があればご検討よろしくお願ひします。	 
8	対人支援	そうだ、散歩しよう。	能勢町は地域の交流が少ないため、健康寿命と交流を増やすために百歳体操で散歩を実施することにした。保健センターへ行き、話をしていると独自の散歩を実施している場所(宿野四区)を勧めてもらいそこへ行き体操の体験をし、その代表の方と話をした。独自の散歩での話を元に私達は散歩マップを考えて、東山辺地区と上村地区に行った。その後、自分達で作ったアンケートを集計した。これらの探究活動は、私達にとって非常にためになった。分析結果をお聞き下さると幸いです。	 
9		遊んで覚える福祉知識 ～福祉をかるたでマスターしよう～	福祉に関わる機会が能勢町全体で減少している現状を知り、私達は能勢町の幅広い年代を対象に福祉を知る機会を作るために、この探究活動で遊びを通して福祉を知る機会を作りたいと思いました。福祉の中でも聴覚障害の方のコミュニケーション手段である、指文字に注目しました。指文字を分かりやすく高齢者から若い年代まで伝えるために指文字とイラストを活用した指文字かるたを1から考え作成しました。作成した指文字かるたを実際に文化祭で実践し能勢ささゆり学園の二年生となごみ苑の方に体験してもらいました。	 